

こしば
新聞

令和3年1月9日(土) 30号

令和3年を迎えて

【区内の景況】

**新年あけましておめでとう
ございます。** 本年もよろしく
お願いします。 昨年1年は
中国武漢発の新型コロナウイルス
の猛威が世界を圧巻して、日本
も多大な影響を受けた一年で
した。飲食店や宿泊業のみならず、
ごく普通に暮らしている方皆様に
とりましても、過ごしづらい1年
であったと思います。

品川区内の中小企業の景況はリー
マンショック後の業況D-1マイナ
ス7.4に迫るほどとなっています。
平成31年からの景気後退に今
回のコロナ禍が拍車をかけてしま
っている状況です。

8日から始まった非常事態宣言。そ
の宣言発令の下で飲食店など人の
流れが直接影響する商売に携わ
る方々にとっては不安の日々を過
ごされています。

その不安を少しでも改善させていくのが、政治の役割です。今年
はコロナという感染防止の対策、いかに経済を回復させていくのかという景気対策、アフターコロナを見据えた将来の展望をいかに描いていくかが問われる一年となります。

民主主義という合議制の枠組みの中で、いかに首長がリーダーシップを発揮していくのか、リーダーシップを発揮するということは必ずしも民主主義とイコールではありません。結果に責任を負うのが首長であり、同時に地方議員たる私も二元代表制のもとで信託を受けた一人として言論、議会活動に責任を果たす議員として4月からの3年目を迎えたいと思いま

【提案が実現へ】

昨秋の決算特別委員会で提案しました国産牛肉などを用いた学校給食が実現される運びとなりました。こちらはコロナ禍によってこれまで高級料亭やホテルなどに卸していた業者、生産者の事業を助けることで日本の第一次産業を守り、日本の食を守ることにつながる農林水産省が主催する補助制度です。参加する自治体に牛肉100グラムにつき1000円を上限に助成し、一人あたり300グラムまで助成の対象とする制度です。担当課にきくと学校によっては今年度中に1回から3回にかけて実施することとした。

給食を通じて日本の食を守る、食育を考えるいいきっかけになればと考えます。

【地域活動】

コロナ禍の中で行事がなくなり、多くの方と意見交換する機会が減りました。しかし政治は地域の声をいかに反映させるか、形にしていくかが、二元代表制で選ばれた議員としての力量であり、矜持であると考えます。

昨年の秋、路地が暗いので街灯の明かりをもっと照らしてもらいたいとの声を伺っていました。担当課の調査と一緒に立ち会いまして、ようやく年末に街灯の明かりが整備された旨報告がありまして、地域の方からも笑顔で感謝されました。こういう声をもっと沢山の方からお聴きし、暮らしやすい品川を目指していきたいと考えますので、どしどしご連絡ください。

【了】



【お問い合わせ先】

小芝新事務所
〒140-0014
品川区大井5-6-2-101
☎090-6106-2272
Fax03-6303-7037
※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



新聞のバックナンバーはHPに掲載しています。